

治験実績

- ・2015年度終了以降の実績を表示しています。
- ・「終了年度」が「-」は現在治験実施中です。
- ・「症例数」が「*」は現在登録期間中です。

血液内科

終了年度	対象疾患	相	初回契約 症例数	追加症例数	実施症例数	実施率 (実施症例数/初回契約 症例数×100)
2016年度	未治療多発性骨髄腫	II	5		3	60.0%
2016年度	未治療多発性骨髄腫	III	2		2	100.0%
2016年度	再発又は難治性多発性骨髄腫	I	2		2	100.0%
2017年度	再発多発性骨髄腫	III	1	2	3	300.0%
2017年度	高齢急性骨髄性白血病	II	4	1	5	125.0%
2018年度	未治療急性骨髄性白血病	III	3	7	10	333.3%
2018年度	再発又は難治性多発性骨髄腫	III	2		2	100.0%
2018年度	未治療慢性リンパ性白血病(CLL)又は小リンパ 球性リンパ腫(SLL)	I	1		1	100.0%
2018年度	未治療進行期濾胞性リンパ腫	III	2	2	4	200.0%
2018年度	未治療多発性骨髄腫	II	1		1	100.0%
2018年度	再発又は難治性多発性骨髄腫	II	1	1	2	200.0%
2018年度	CD20 陽性低腫瘍量濾胞性リンパ腫	III	2	5	7	350.0%
2018年度	再発又は難治性多発性骨髄腫	I	2		1	50.0%
2018年度	再発及び難治性多発性骨髄腫	III	3	4	7	233.3%
2019年度	未治療急性骨髄性白血病(FLT3 遺伝子変異陽 性)	II/III	3		0	0.0%
2019年度	骨髄異形成症候群(MDS)	II	3		3	100.0%
2019年度	低腫瘍量濾胞性リンパ腫	III	2		2	100.0%
2019年度	再発又は難治性多発性骨髄腫	II	2		1	50.0%
2019年度	高齢者急性骨髄性白血病	II	2		0	0.0%
2019年度	未治療急性骨髄性白血病	II	2		1	50.0%
2019年度	再発又は治療抵抗性急性骨髄性白血病	I	1	2	3	300.0%
2019年度	CD20陽性B細胞性非ホジキンリンパ腫	III	4		2	50.0%
2019年度	初発非胚中心B細胞様びまん性大細胞型B細胞 性リンパ腫	III	3		1	33.3%

2020年度	多発性骨髄腫	Ⅲ	3		3	100.0%
2020年度	未治療多発性骨髄腫	Ⅲ	4	3	7	175.0%
2020年度	前治療歴を有する骨髄異形成症候群(MDS)又は慢性骨髄単球性白血病(CMML)	Ⅲ	2	4	6	300.0%
2020年度	前治療歴を有する急性骨髄性白血病(AML)	Ⅲ	2		2	100.0%
2021年度	再発及び難治性多発性骨髄腫	Ⅱ	2	3	5	250.0%
2021年度	再発又は難治性多発性骨髄腫	Ⅲ	3		1	33.3%
2021年度	寛解導入・地固め療法後の急性骨髄性白血病(FLT3-ITD遺伝子変異陽性)	Ⅲ	2		1	50.0%
2021年度	初発慢性期慢性骨髄性白血病	Ⅱ	3	1	4	133.3%
2021年度	未治療急性骨髄性白血病	Ⅲ	3	6	9	300.0%
2021年度	高リスク急性骨髄性白血病	I / Ⅱ	2		1	50.0%
2021年度	再発又は難治性原発性縦隔大細胞型B細胞性リンパ腫(rrPMBCL)	I	1		0	0.0%
2021年度	再発又は難治性多発性骨髄腫	Ⅲ	2	1	3	150.0%
2021年度	未治療多発性骨髄腫	Ⅱ	4	4	8	200.0%
2021年度	未治療多発性骨髄腫	Ⅲ	4		2	50.0%
2022年度	初発多発性骨髄腫	Ⅲ	4	1	5	125.0%
2023年度	原発性マクログロブリン血症	Ⅱ	2		2	100.0%
2024年度	寒冷凝集素症	Ⅲ	1		0	開始前中止
2024年度	原発性マクログロブリン血症及びリンパ形質細胞リンパ腫	Ⅱ	1	3	4	400.0%
2024年度	中枢神経系原発リンパ腫	I	1		0	開始前中止
2025年度	非ホジキンリンパ腫	Ib/ Ⅱ	1		0	0.0%
—	再発又は難治性古典的ホジキンリンパ腫	Ⅲ	1	3	4	400.0%
—	未治療びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫(DLBCL)	Ⅲ	1	2	3	300.0%
—	再発又は難治性びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫(DLBCL)	Ⅲ	1	3	4	400.0%
—	再発又は難治性慢性リンパ性白血病/小リンパ球性リンパ腫	Ⅲ	*		*	
—	再発又は難治性のワルデンシュトレームマクログロブリン血症又はリンパ形質細胞性リンパ腫	Ⅱ	*		*	

呼吸器内科

終了年度	対象疾患	相	初回契約 症例数	追加症例数	実施症例数	実施率 (実施症例数/初回契約 症例数×100)
2015年度	慢性閉塞性肺疾患患者(COPD)	Ⅲ	3		2	66.7%
2017年度	喘息	Ⅲ	2		2	100.0%
2017年度	進行非小細胞肺癌	Ⅲ	6		2	33.3%
2017年度	慢性閉塞性肺疾患患者(COPD)	Ⅲ	6		4	66.7%
2017年度	高度催吐性抗悪性腫瘍薬投与患者	Ⅱ	5		2	40.0%
2018年度	喘息	Ⅱ/Ⅲ	1		1	100.0%
2018年度	慢性閉塞性肺疾患(COPD)	Ⅲ	3	1	4	133.3%
2019年度	慢性咳嗽	Ⅲ	1		0	0.0%
2019年度	喘息	Ⅰ	1		1	100.0%
2020年度	非扁平上皮非小細胞肺癌	Ⅲ	2		1	50.0%
2023年度	喘息	Ⅱ	1		0	0.0%
2023年度	慢性閉塞性肺疾患(COPD)	Ⅲ	1		0	0.0%
2024年度	好酸球性重症喘息	Ⅲ	5		2	40.0%
—	転移性非扁平上皮非小細胞肺癌	Ⅲ	5		2	40.0%

循環器内科

終了年度	対象疾患	相	初回契約 症例数	追加症例数	実施症例数	実施率 (実施症例数/初回契約 症例数×100)
2016年度	心血管系疾患を有する高コレステロール血症	Ⅲ	8		6	75.0%
2018年度	心不全	Ⅲ	5		3	60.0%
2019年度	非弁膜症性心房細動	Ⅲ	3	7	10	333.3%
2019年度	左室駆出率が低下した心不全(HFrEF)	Ⅲ	3		1	33.3%
2023年度	心房細動	Ⅲ	20		7	35.0%
—	心房細動	Ⅲ	*		*	

消化器内科

終了年度	対象疾患	相	初回契約 症例数	追加症例数	実施症例数	実施率 (実施症例数/初回契約 症例数×100)
2016年度	門脈血栓症	Ⅲ	1		1	100.0%
2021年度	切除不能進行又は再発胃がん	Ⅱ/Ⅲ	1	2	3	300.0%
2021年度	遺伝性血管性浮腫	Ⅲ	2		1	50.0%
2021年度	遺伝性血管性浮腫	Ⅲ	1		1	100.0%
2025年度	遺伝性血管性浮腫	Ⅲ	1		1	100.0%

脳神経内科

終了年度	対象疾患	相	初回契約 症例数	追加症例数	実施症例数	実施率 (実施症例数/初回契約 症例数×100)
2015年度	虚血性脳血管障害	Ⅲ	12	6	18	150.0%
2015年度	急性虚血性脳卒中又は一過性脳虚血発作 (TIA)	Ⅲ	5		1	20.0%
2019年度	パーキンソン病	Ⅱ	6		6	100.0%
2022年度	急性期虚血性脳卒中又は一過性脳虚血発作 (TIA)	Ⅱ	6		2	33.3%
2025年度	急性非心原塞栓性虚血性脳卒中又はTIA(一過 性脳虚血発作)	Ⅲ	10	2	11	110.0%

腎臓内科

終了年度	対象疾患	相	初回契約 症例数	追加症例数	実施症例数	実施率 (実施症例数/初回契約 症例数×100)
2017年度	血液透析施行中の腎性貧血	Ⅲ	2		0	0.0%
2021年度	慢性腎臓病	Ⅱ	5		3	60.0%
2024年度	慢性腎臓病	Ⅲ	2		0	0.0%

膠原病・リウマチ内科

終了年度	対象疾患	相	初回契約 症例数	追加症例数	実施症例数	実施率 (実施症例数/初回契約 症例数×100)
2020年度	関節リウマチ	Ⅱ	2		2	100.0%
—	特発性炎症性筋疾患(多発性筋炎及び皮膚筋炎)	Ⅲ	*		*	

形成外科

終了年度	対象疾患	相	初回契約 症例数	追加症例数	実施症例数	実施率 (実施症例数/初回契約 症例数×100)
2016年度	MRSA感染症(皮膚・軟部組織感染症又はそれに伴う敗血症)	Ⅲ	2	2	4	200.0%

救命救急科

終了年度	対象疾患	相	初回契約 症例数	追加症例数	実施症例数	実施率 (実施症例数/初回契約 症例数×100)
2016年度	抗凝固作用に対する中和効果	Ⅲ	1		1	100.0%

皮膚科

終了年度	対象疾患	相	初回契約 症例数	追加症例数	実施症例数	実施率 (実施症例数/初回契約 症例数×100)
2023年度	慢性特発性蕁麻疹	Ⅱ	3		1	33.3%